

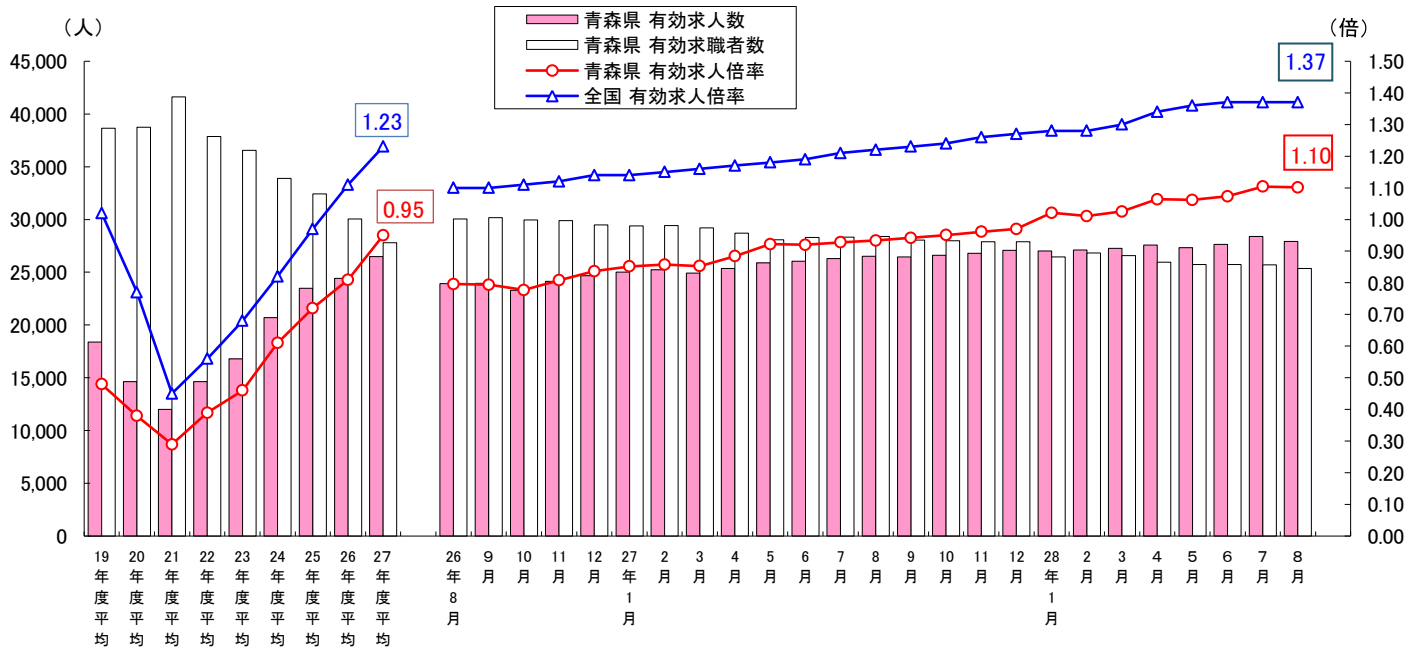
最近の雇用情勢について

(平成28年8月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

8月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ1.6%減少の27,924人、有効求職者数(同)は1.3%減少の25,360人で、有効求人倍率(同)は1.10倍で前月と同水準となった。

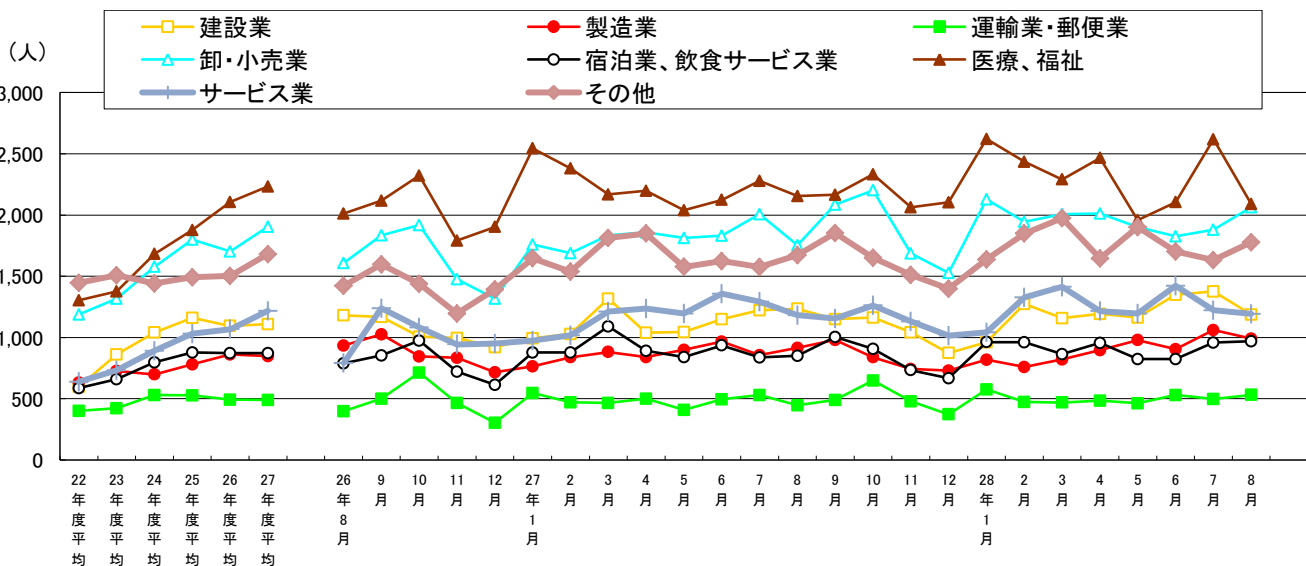


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成27年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

8月の新規求人数(原数値)は前年同月比5.8%(597人)増加、前月比3.9%(440人)減少の10,808人。

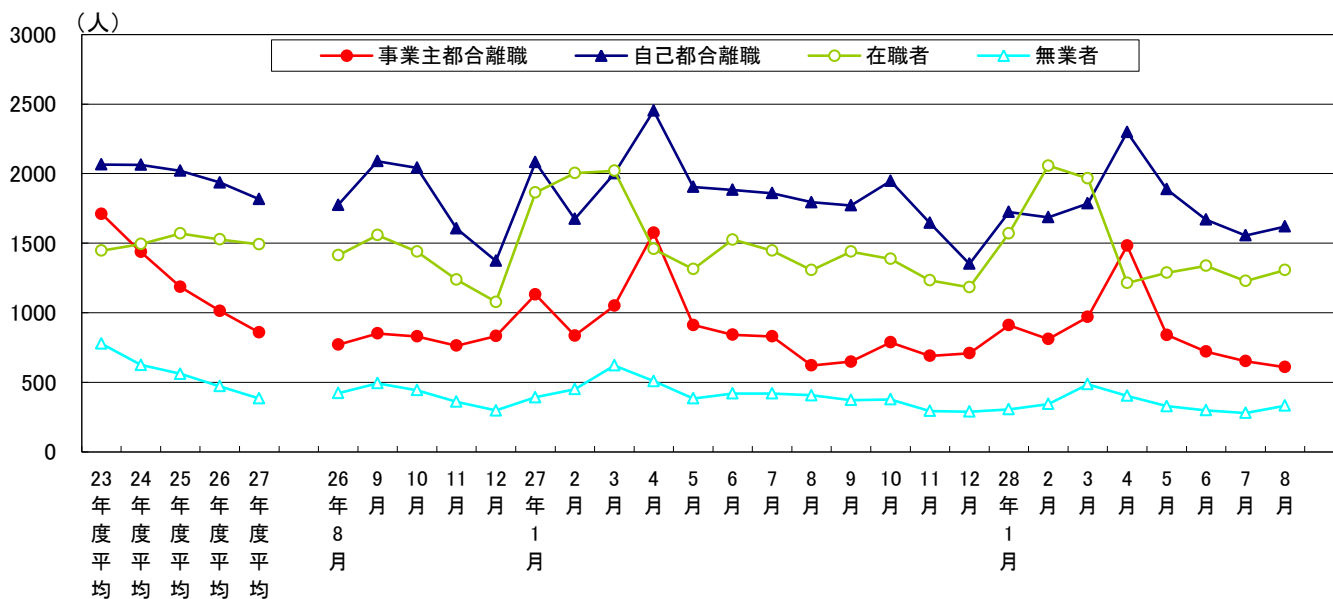
産業別で前年同月と比較すると、農、林、漁業、製造業、運輸、郵便業、卸売・小売業、金融・保険業、宿泊、飲食サービス業、教育、学習支援業等で増加し、建設業、学術研究、専門・技術サービス業、医療・福祉、複合サービス事業等では減少となった。製造業では、食料品製造、飲料・たばこ・飼料製造業、木材・木製品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、金属製品製造業等で増加し、繊維工業、窯業・土石製品製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で減少となった。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

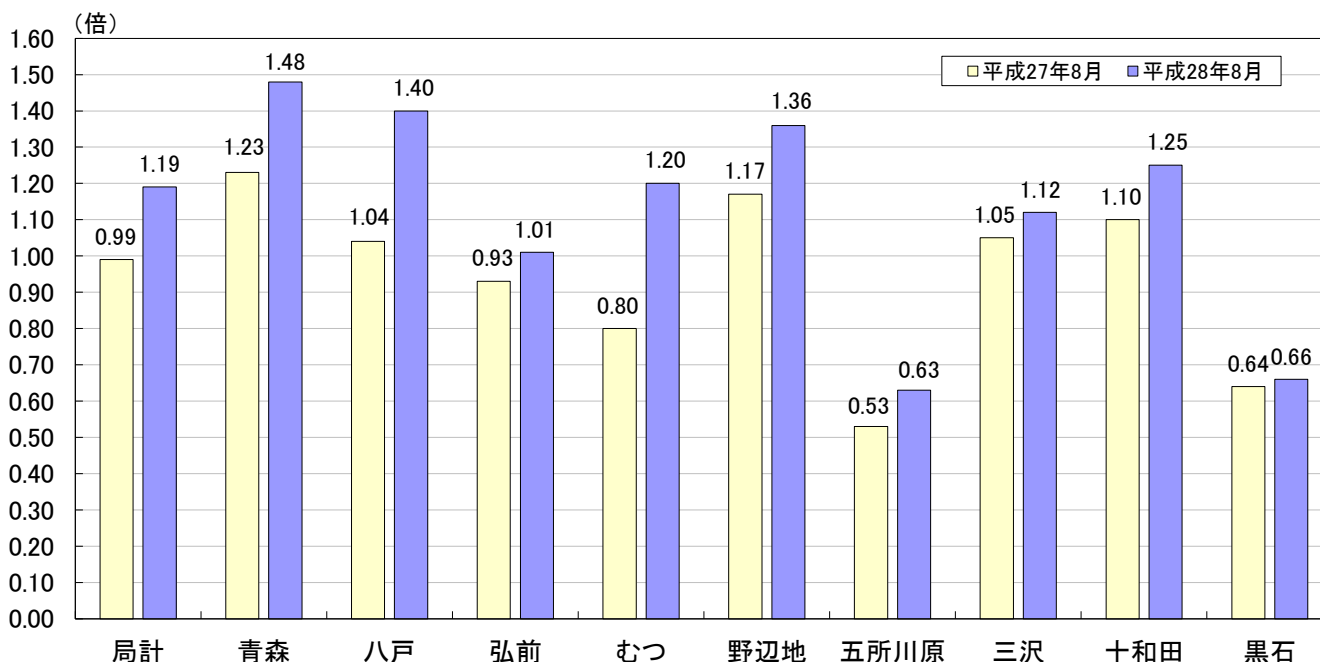
Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

8月の新規求職者数は、前年同月比6.6% (279人)減少、前月比3.7% (140人)増加の3,938人。
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は0.1% (1人)増加し、離職者は8.2% (205人)の減少、無業者は18.4% (75人)の減少となった。
 離職理由でみると、事業主都合は1.8% (11人)の減少、自己都合は9.8% (175人)の減少となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

8月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.19倍となり、前年同月を0.20ポイント上回った。
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

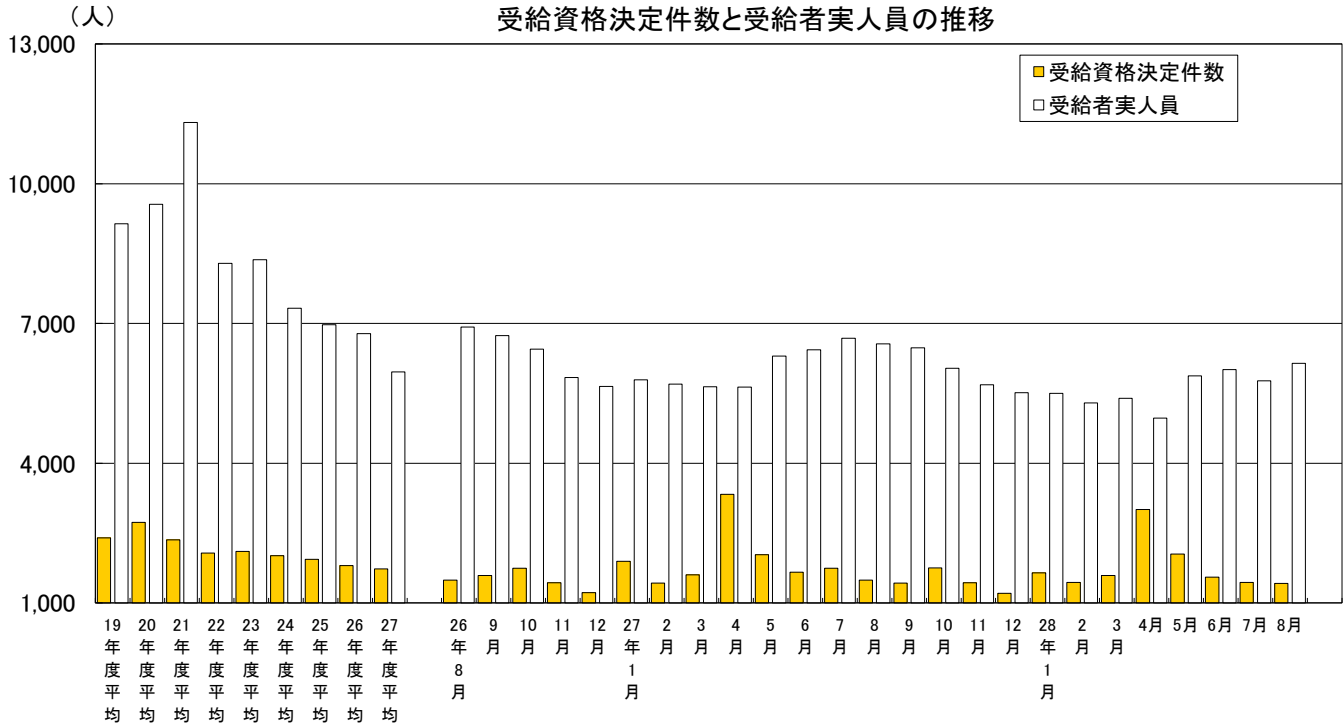


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	24,102	5,763	5,244	4,867	1,075	795	2,335	1,385	1,116	1,522
有効求人数	28,608	8,549	7,331	4,938	1,288	1,080	1,463	1,557	1,394	1,008

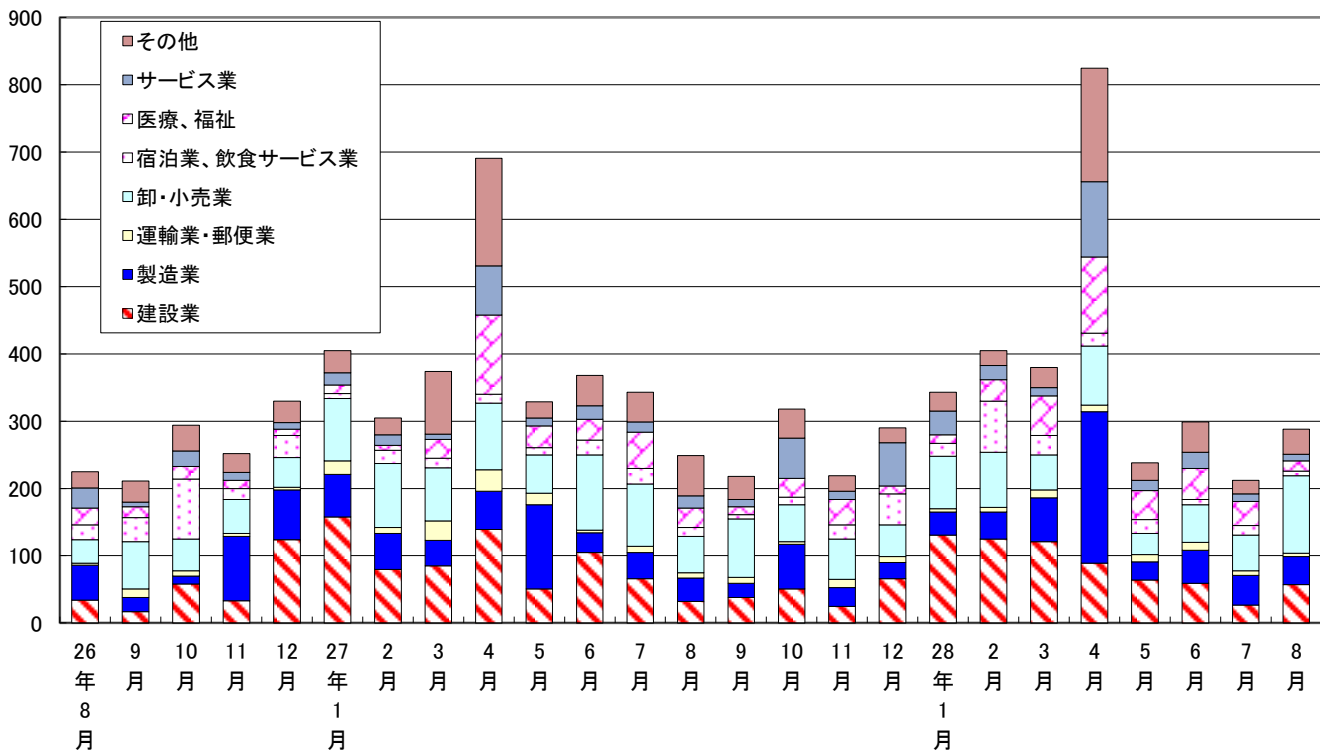
V 雇用保険の状況

8月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比6.4%（418人）減少、前月比では6.5%（374人）増加の6,146人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比5.0%（74件）減少、前月比では1.3%（19件）減少の1,420件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比15.7%（39人）増加、前月比35.8%（76人）増加の288人となっている。



(人) 事業主都合による資格喪失件数の産業別推移



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。